

1～4年次後期・選択

2単位・30時間

【概要・目標】

営利・非営利組織を問わず、どのような職に就かれても、経済学的な思考フレームワークを身につけることは、生活の根幹にとって極めて重要です。

利益や銀行機能の把握、円安の意外な落とし穴、輸出とマネー量の関係、医療制度を支える健康保険制度の悪影響等、この講義では、難しい言葉をなるべく使わずに解説し、教養としての経済学的思考の修得を目的とし、医療に関わる人材が身につけて欲しい経済学的知識と思考を身につけます。ぜひ、積極的な受講をお待ちしています。

【到達目標】

- 1) 経済学的思考が理解できる
 - 2) 医療の経済的側面が理解できる
 - 3) 経済用語が理解でき社会との関りを説明できる
-

【内容・スケジュール】

- 1) 経済学で何が説けるのか、医療とマネーとの関わり
 - 2) 相関関係と因果関係、要因分析の方法
 - 3) 機会費用と利益の概念、金利・利回り
 - 4) 企業の生産計画と価格設定の効果、限界の概念
 - 5) 会計という方法、財務諸表
 - 6) 売上管理とバランス・シート
 - 7) 損益計算書とその演習
 - 8) 決算の意味と収益と費用の期間内一致の原則
 - 9) 医療制度の国際比較と医療費・医療保険
 - 10) 医療サービスと需給関係
 - 11) 病床規制の経済的効果
 - 12) 金融商品、株式と投資信託、住宅ローンの仕組
 - 13) 相対的少子高齢化社会と金融機能
 - 14) マクロ経済と財政・金融政策、MMTの落とし穴
 - 15) グローバル経済とタックスヘイブン
-

【評価】

授業内の演習課題への取組み（30%）、試験（70%）で評価します

【教科書】

指定しません（配布資料により講義を進めます）

【推薦参考図書】

- 中室牧子・津川友介著『「原因と結果」の経済学——データから真実を見抜く思考法』ダイヤモンド社、2017年。
 - 國貞克則著『ストーリーでわかる財務3表超入門』ダイヤモンド社、2011年。
-

【その他】 ご質問・ご相談は、講義の前後 e-Mail (chikahiro.masashi@gmail.com) により受け対応します。